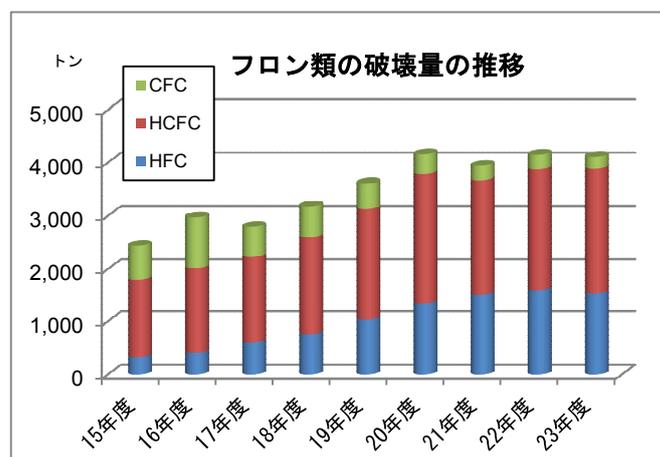


破壊量等の報告の集計結果（平成23年度）

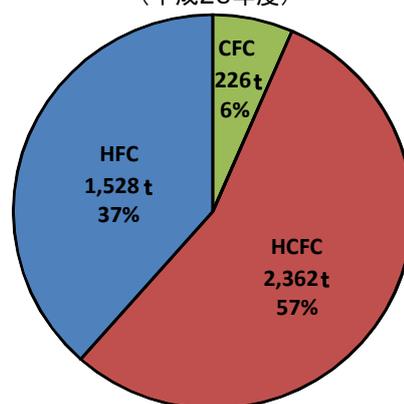
単位：kg

	CFC	HCFC	HFC	合計
年度当初の保管量	14,034	83,465	48,632	146,130
第1種(業務用冷凍空調機器)	191,443	2,356,681	881,827	3,429,951
第2種(カーエアコン)	33,453	—	645,487	678,941
引き取った量の合計	224,897	2,356,681	1,527,314	4,108,892
破壊した量	225,980	2,361,682	1,527,977	4,115,639
年度末の保管量	12,951	78,464	47,969	139,383

※小数点未満を四捨五入しているため、表中の数値の和は必ずしも合計欄の値に一致しない。



種類別のフロン類破壊量
(平成23年度)



〈参考〉フロン類の種類について

CFC (クロロフルオロカーボン) 冷媒、発泡剤、洗浄剤等として使用される。オゾン層を破壊する物質であり、モントリオール議定書に基づき1995年(平成7年)末で先進国において生産が全廃された。強力な温室効果ガスでもある。

HCFC (ハイドロクロロフルオロカーボン) CFCの代替物として開発された物質であり、CFCに比べるとオゾン層を破壊する力は弱い。モントリオール議定書に基づき先進国においては2019年(平成31年)末までに生産を全廃しなければならない。強力な温室効果ガスでもある。

HFC (ハイドロフルオロカーボン) CFC、HCFCの代替物として開発された、いわゆる代替フロン。オゾン層破壊物質ではないが、強力な温室効果ガスであり、京都議定書において排出削減対象物質となっている。